

高齢者のデジタル機能評価を臨床で実装する産学連携研究

ウェアラブルバイタル測定システムを応用したデジタルフレイル評価法の開発



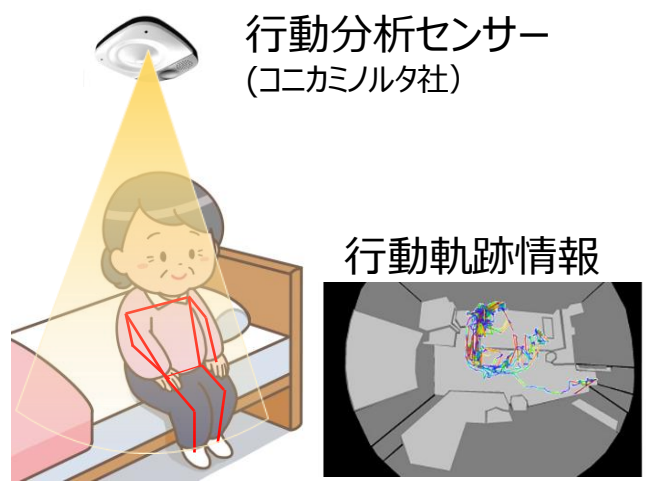
リアルタイム血圧計測システム (Arblet社、2024PMDA承認)
↓
臨床使用実現に向けた臨床試験実施中



自由行動下でバイタル測定とフレイル評価を同時に行うシステムを開発する臨床研究

高齢者の就労安全を管理するデジタルシステムの開発研究 (2025 大阪万博で検証研究実施)

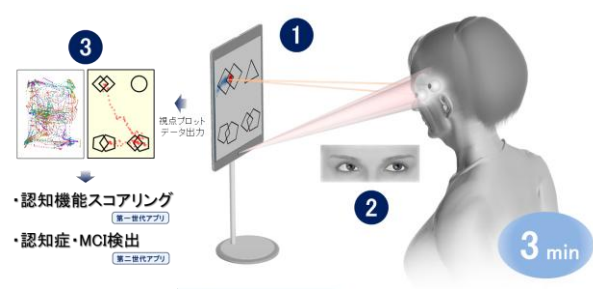
天井カメラを用いた高齢者の要介護度判定システムの開発



健常-要介護までの高齢者の機能状態を評価できるデジタルシステムの多施設共同研究

AMED長寿科学研究開発事業

アイトラッキング式認知機能評価法の開発



- ① 認知機能評価タスク映像の提示
- ② アイトラッキング法による視線情報の記録
- ③ 視線データの解析に基づく認知機能評価

2025年1月より保険適用(80点)
認知症領域のSaMDとして日本初

2025年時点で世界13ヶ国で特許成立
世界4ヶ国でプログラム医療機器承認

IP approved in Japan, U.S., China, Korea, Hong Kong, Vietnam, Philippines, India, Taiwan, Australia, EP (UPC member states and England) (as of 2025).



本シーズをもとに大阪大学発ベンチャー設立

Ai-BrainScience

高齢者の内在性能力向上、疾患予後改善に向けた新しい評価法の開発と社会実装を目指しています。産学連携により既存の概念を覆すシナジー効果が生まれることに期待しています。